

米持克彦の村の助役体験を映画化

「映画」素人助役奮闘記



ものがたりのゆくえ

主人公は、珍しや、映画の主人公として登場したことのない公務員である。その名は坂本太郎、中肉中背、少しばかりの勇気と頑固さを持っただけのごく平凡な男であるが、何故か女房はとびきりの美人(?)ときている。

さて、事の始まりは、この坂本太郎が、異例の人事で自治省から利根川べりの村へ助役として出向した事、正しく素人助役の登場であった。

坂本を迎える村は総人口3800、村役場の職員だって30名に満たない、一見平和そうな小さな村だったが、どっこい中身は大変な村だった。狸親父と呼ばれるワンマン村長、役場の主を自認する用務員の超張り切りばあさん、権謀術数にたけた総務課長、クールに行動する若手職員達、そして村長と対立して村を二分している村会議長。坂本はライオンの檻に投げ込まれたウサギにも似た存在だった。

都会暮らしを続けてきた彼に、この動物園のような村役場で活躍ができるのか、果して一。

かいせつ

全く新しいジャンルの開発をしようとしているこの映画、原作「素人助役奮闘記」(ぎょうせい刊)は、今も現職の公務員である米持克彦氏が4年間にわたり村役場の助役として過した自己の体験を綴ったもので、脚本化については原作の持ち味を活かしたエッセイ風の映画を目指している。

製作は「人間の条件」(六部作)等の名作を数多く世に送り出して来た「にんじんくらぶ」で、監督には「若者たち」を経て「人間であるために」「火事と仔馬」「沈黙の夏」と、人間の持つ優しさを描き続けて独立プロの中で独自の道を歩む高木一臣を起用、また音楽を担当するのが「砂の器」の名曲で知られる菅野光亮と、映画界の優秀な精鋭がスタッフ陣を占めている。そして、出演陣も多彩を極め、見事にイメージの脱皮を見せる江藤潤、その妻に大型女優への道を着実に歩む白都真理、賈禄十分のハナ肇、本格派の成田三樹夫、軽妙な暖かさを見せる谷啓、そして岡本信人、池波志乃、今陽子等々と、希に見る配役が作品を盛りあげている。

原作者

よねもちかつひこ
米持克彦

(体験記が映画化される)

米持克彦のプロフィール

- 新潟大学卒
- 自治省(現 総務省)、国土庁(現 国土交通省)、新潟県庁、埼玉県庁勤務
- 埼玉県南河原村(現 行田市)助役
- 千葉市指定都市準備室長
(平成4年千葉市が政令指定都市となる)
- 自治省(現 総務省)大臣官房総務課課長補佐
- 千葉市議会議員
 - 議長、副議長、総務等各常任委員会委員長、議会運営委員会委員長等
 - 自由民主党千葉市議団幹事長
21世紀クラブ幹事長等を務める

「単行本」素人助役奮闘記

発行所



株式会社 ぎょうせい

東京都新宿区東五軒町1-2 (〒162-0813)
電話 (03) 3268-1341(代表) 振替 東京7-13 ①

「DVD」もあります。ご覧になりたい方は、下記へお問合せ下さい。

千葉市美浜区磯辺4-25-3
TEL. 043-277-5689
043-278-3008
FAX. 043-278-3008

